


## 4WAY ステアリングスタビライザー JB64/JB74 取扱説明書

この度は商品をご注文いただきありがとうございます。取り付けする前にこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しく製品をご使用ください。

### 商品内容

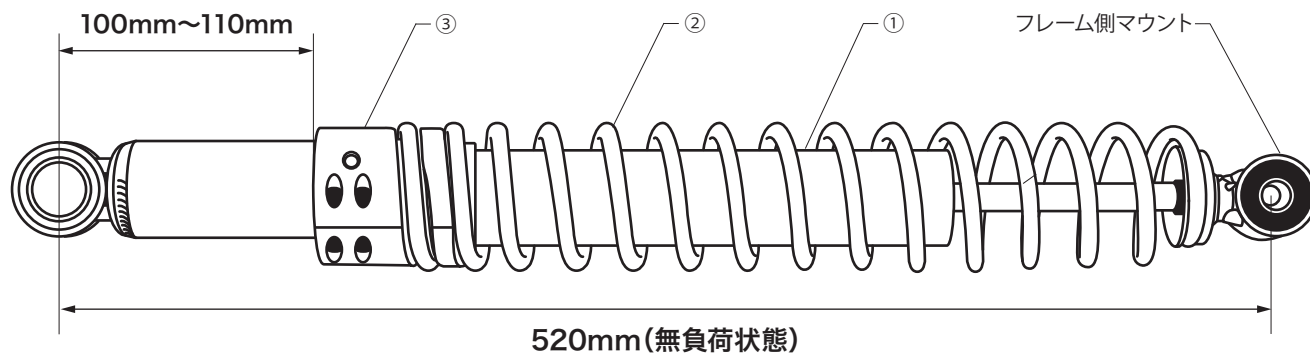
番号	名称	略図	数量
①	ステアリングダンパー本体&コイルスプリング		各1

番号	名称	略図	数量
②	スプリングマウント		1
③	ロックナット(本体装着済み)	-	1
④	割りピン(本体装着済み)	-	1

### 適合車種

ジムニー JB64/ジムニーシエラ JB74

### 組み付け寸法図



## 取付要領

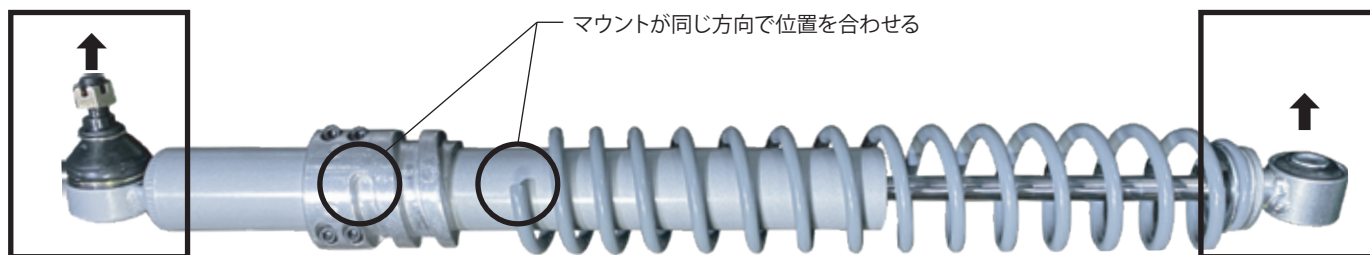
### 1 スプリング本体の固定

①ステアリングダンパー本体フレーム側マウントを引っ張り、ピストン部分が一番伸びた状態にしてください。

②組み付け寸法図の寸法を参考にステアリングダンパー本体にスプリングマウントを挟み込み固定してください。

**POINT** スプリングマウントの固定位置には円周方向の位置もあります。下記の「マウント固定図」を参考にスプリングをマウントにねじ込んだ際にステアリングダンパー左右のマウントどうしが平行になる位置でスプリングマウントを固定してください。

**注意** スプリングマウント固定用ボルト4本は一度に締め切らず、少しずつ均等に締め付けをおこなってください。また、しっかり固定された状態でもスプリングマウント同士が完全に密着しない場合がありますが固定には問題ありません。以上を踏まえ組み付けをおこないネジを締め過ぎないように注意してください。スプリングマウント本体はアルミ製のため、ネジを強く締めすぎるとネジ山破損の原因になります。



マウント固定図

③フレーム側マウントとコイルスプリングを同時に回転させスプリングマウントにコイルスプリングをねじ込みます。

**POINT** スプリングマウントのスプリングがはまり込む溝の最後までスプリングをねじ込んでください。

④スプリングがしっかりはまり込んだ状態で下記の確認項目の状態であることを確認してください。確認項目と異なる場合は①から再度作業をおこない寸法や固定位置を調整してください。

**確認項目** ・無負荷状態のステアリングダンパー本体左右の車両取り付け間の寸法が520mmであること（組み付け寸法図）  
・ステアリングダンパー本体のフレーム側マウントとリレーロッド側マウントが平行であること（マウント固定図）

**注意** スプリングマウントの位置を調整するときにステアリングダンパー本体に傷が入らないように注意して作業してください。

### 2 純正ステアリングスタビライザーの取り外し

①メーカー整備マニュアルを参考に純正ステアリングスタビライザーを取り外してください。

**注意** 純正ステアリングスタビライザーの取り外しには特殊工具が必要になります。

### 3 4WAY ステアリングスタビライザー本体の取り付け

①タイヤ(ステアリング)が真っ直ぐであることを確認して、4WAY ステアリングスタビライザーを取り付けてください。フレーム側は純正ボルトを再利用してください。

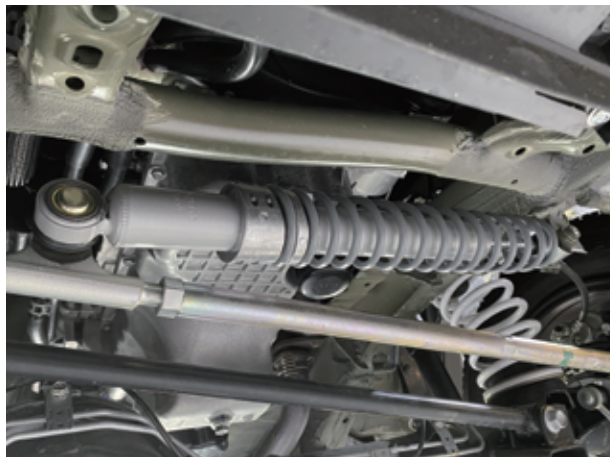
**POINT** フレーム側締め付けトルク:50Nm  
リレーロッド側締め付けトルク:43Nm

**注意** 車体側とステアリングスタビライザー本体の取り付け寸法が異なり取り付けが困難な場合、無理に作業をおこなわないでください。仮にステアリングが切れた状態で当製品を取り付けた場合、常にステアリングを切る方向に力が加わり不具合の原因となります。

**POINT** ステアリングが真っ直ぐにも関わらず装着が困難な場合は車両個体差により多少のコイルマウント固定位置の調整が必要なケースもございますので、車両に合わせてコイルマウントの位置を調整してください。

②リレーロッド側ボルトに割りピンを装着してください。

**注意** 規定トルクで締め付けた状態で割りピン差し込み位置が一致していない場合は必ず締め付け側に回転させて差し込み位置を調整してください。



### 5 最終チェック

①各箇所のボルトの緩み、異音等なくステアリングが左右に問題なく切れること、走行直進時左右いずれかにステアリングが切れ込まないことを確認して作業終了です。

#### ⚠ 製品のご使用について

- 装着後は定期的にし締め作業をおこなってください。ネジ部に緩みがあると、ステアリングが切れなくなり、重大事故につながる原因となります。
- 使用中に異変を感じた場合は直ちに使用を中止し、お近くの販売店またはディーラー等での点検を行なってください。
- 製品装着後、ステアリングセンターから左右にステアリングを切る場合、純正に比べ抵抗が大きくなり重たくなります。逆に切った状態からステアリングセンターに戻る際はコイルスプリングのサポートにより戻りやすくなり直進性が高くなります。以上の製品特性を十分にご理解いただき、製品をご使用ください。
- 使用環境により、ショックアブソーバーとスプリングが若干干渉する場合がございますが、製品の設計やレイアウト上、若干の干渉は正常とさせていただきます。

**C.L.LINK**